

アクティブプラン【立川市版】 t o 2020（改訂版）

総合的な子供の基礎体力向上方策（第3次推進計画）

立川市第2次学校教育振興基本計画

運動に親しみ、健康の保持増進及び体力の向上を目指して取り組む児童・生徒の育成

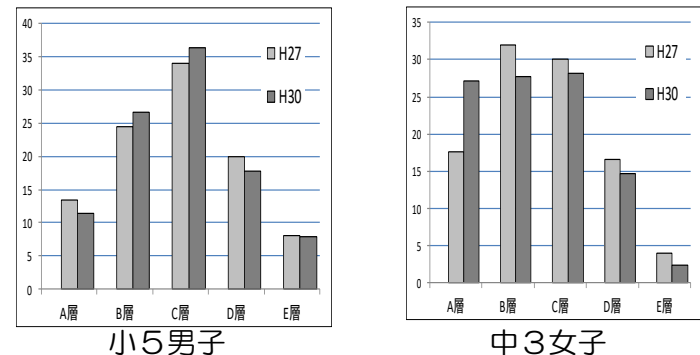
東京オリンピック・パラリンピック

東京オリンピック・パラリンピックに主体的に参加しようとする児童・生徒の育成

継続	東京都統一体力テストの6月実施
充実	スーパーアクティブスクール（全中学校）
改善	ICTを活用した体育・保健体育授業の工夫・改善
充実	中学生「東京駅伝」大会への取組の充実
充実	「体力向上推進月間」による「一校一取組運動」の充実
充実	体育実技研修の充実
継続	立川スタンダード（基本的指導過程）20～体育・保健体育編～の活用
継続	指導課訪問による指導・助言（指導課訪問時に体育・保健体育科授業を設定する）
継続	幼保・小中連携を図った体育的活動の設定（立川市就学前スタンダード20の活用）
継続	運動の複線化（休み時間、クラブ、部活動等運動に親しませる機会の設定、市の大会等目標をもって積極的に挑戦できる機会の提供）

継続	世界ともだちプロジェクト（東京オリンピック・パラリンピックに参加予定の国・地域の文化や歴史、スポーツや言語等を幅広く学ぶ）
継続	夢・未来プロジェクト（オリンピック・パラリンピアン等との直接交流によるオリンピック・パラリンピックの理念や価値を理解し、スポーツへの関心を高める。）
継続	教科等におけるオリンピック・パラリンピック学習
継続	立川在勤のオリンピックとの交流と継続的な応援
充実	東京女子体育大学・アルバルク東京等と連携したオリンピックによる授業
充実	オリンピック・パラリンピアンによる授業
継続・新規	オリンピック・パラリンピック教育アワード校、パラリンピック競技応援校、文化プログラム・学校連携事業
継続	立川市児童会・生徒会サミット ～東京2020オリンピック・パラリンピックにどう取り組んでいくか～
新規	東京2020オリンピック・パラリンピック競技観戦

平成30年度体力調査の結果から
（体力調査の合計点と総合評価との関係）



○小5男子のA・B層は微増。D・E層は2%減。
○中3女子のA・B層は5.3%増。D・E層は3.4%減。
○小5女子、中3男子のA・B層の増加とD・E層の減少が課題

【数値目標】

- ①2015年度と比較し、2020年度統一体力テストのA・B層児童・生徒の割合合計10%増
- ②2015年度と比較し、2020年度統一体力テストのD・E層児童・生徒の割合合計10%減
- ③全学年の持久力を2020年度までに都平均まで向上
→H30は、小5女子、中3男女が都平均以上

※アクティブプラン実施開始年（2015年：H27）との比較。

平成30年度の実践から（アワード校の実践）



立川第九中学校において、立川市に拠点をおく3人制プロバスケットボールチーム、立川DICE所属のGM代行、選手を招いて、3×3体験・講演会を開催した。

第五小学校において、ビーチバレーボール選手による実技指導を実施した。普段の練習で取り入れている準備運動やボールの扱い方を教わった。



【数値目標】

- ①2020年までの5年間で一国以上と直接・間接交流
- ②オリンピック・パラリンピック学習を35単位時間程度実施
- ③2020年までに1回のオリンピック・パラリンピアン講演会等の実施